

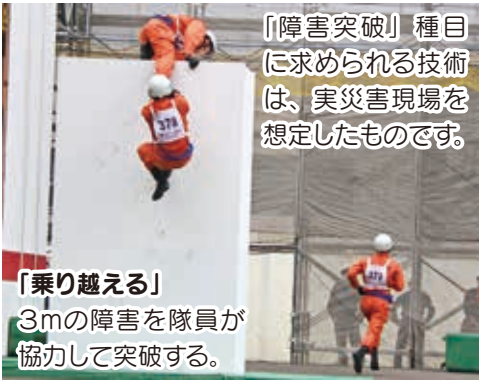
第50回全国消防救助技術大会出場！ 坂東消防署救助隊障害突破チーム

8月26日、東京都立川市において消防救助技術の安全性・確実性・迅速性を競う第50回全国消防救助技術大会が開催され、全国の消防本部から選抜された931人の隊員が集まり、陸上・水上の部各8種目で訓練の成果を披露しました。

出場した隊員は、「今回の訓練を通じて磨いた体力・技術・精神力を災害現場で発揮できるような、今後とも組織一丸となり精進してまいります。」と話していました。

陸上の部「障害突破」では、坂東消防署から5名の救助隊員が出場し、タイムは100.8秒を記録し、減点なしで入賞を果たしました。

「障害突破」種目に求められる技術は、実災害現場を想定したものです。



「乗り越える」
3mの障害を隊員が協力して突破する。



「渡る」
対面の建物へロープを展張して、ロープを渡り進入する。



「登る」
7mの高さの梯子を登り、安全・確実に建物に進入する。



「障害突破」で入賞した坂東消防署隊員（後列）と「ロープブリッジ救出」で入賞した下妻消防署隊員（前列）



「濃煙を通過する」
濃煙の狭い通路内を、空気呼吸器を着装し突破する。

「会社のお金が入ったバックを電車内に置き忘れた。お金が急に必要になった。」は詐欺です